

現 状

- 道路政策を10の領域に分け、建議の中間とりまとめに沿って必要性の高い研究課題の例を提示し、どの領域からもフラットに募集を実施。
※特定課題(タイプⅣ)については、平成22年度に一度募集。



方 針

- 現行の募集方法(タイプⅠ～Ⅲ)に併せ、道路行政の実務に必要となる緊急性の高い課題について、特定課題(タイプⅣ)として具体的な開発要件(リクワイアメント)を提示し毎年募集。
- 特定課題の緊急性によっては、研究期間を2年間や1年間に設定する場合も想定。

<平成26年度の新規募集にあたっての特定課題(案)>

○橋梁やトンネル点検を低コストで効率的に支援する技術に関する研究開発

(必要な観点)

- 近接目視、打音検査と同等の点検が可能なこと
- 近接目視が困難な部位の点検が効率的に行えること

○首都圏の環状道路の効率的な運用に関する研究

(必要な観点)

- 環状道路を含めた大都市圏の高速道路ネットワークの効率的な運用方策
- 大都市圏環状道路と、物流施設・商業施設等の地域開発との相互の関係 等